

〔本会の活動の歩み〕

昭和51年10月に日本家政学会のなかの委員会として被服衛生学研究委員会が発足した（委員長渡辺ミチ）。この委員会は昭和54年10月に日本家政学会被服衛生学部と名称を変えた。本会の今後の発展への資料として役立つことを希望して、今までの活動の記録をここに紹介したい。

昭和 51 年度

1. 総会および講演会 昭和51年10月9日(土)京都女子大にて開催
13:00~14:00 役員会
14:00~15:30 講演会「体温とその調節」
大阪大学医学部教授 中山昭雄氏
15:30~18:30 総会 経過報告、委員会規定、事業計画、予算案等について（幹事選出）
2. 研究会
昭和52年2月26日(土)14:00より文化女子大にて
14:00~15:00 役員会
15:00~17:00 講演会「温熱生理学からみた被服文化」について東京医科歯科大名誉教授 北博正氏

昭和 52 年度

1. 総会および講演会 昭和52年10月1日(土)文化女子大にて開催
13:00~14:00 総会
14:00~15:30 講演会「老人の体温調節の特徴」について東京都老人総合研究所生理学部長 入来正躬氏
2. 地区研究会
関東地区 昭和52年7月18日(月)13:30~16:30文化女子大
研究テーマ 家政学における被服衛生学の意義及びその位置づけ
話題提供

- 1) 新制大学発足後の被服衛生学の推移と大学設置基準におけるその位置 文化女子大 渡辺ミチ
- 2) 衣料管理士制度の中における被服衛生学 和洋女子大 川村一男

関西地区 昭和52年9月10日(土)14:00~16:00奈良女子大

研究テーマ 被服生理衛生学学生実験の内容の検討と改善

話題提供

- 1) 被服帯電と人体 大阪教育大 奥窪朝子
- 2) 体温調節と被服 奈良教育大 中谷 和
- 3) 衣服に付着する皮脂量の測定 大阪市大 花田嘉代子

中・四国・九州地区

研究テーマ 肌着に関する被服衛生学的調査（青年女子を対象として）

研究方法 アンケートによる調査

昭和 53 年度

1. 総会および講演会予定 昭和53年10月3日(火)文化女子大
9:00:11:00 講演会「湿度と人体」について 昭和大学医学部教授 吉田敬一氏
11:00~12:00 総会
13:00~14:30 地区研究会報告及び質疑応答
14:30~16:00 研究発表及び討論会

2. 地区研究会

関東地区 昭和53年7月17日(月)13:30~16:00文化女子大

研究テーマ 関東地区における今後の研究計画

話題提供 昭和大 吉田敬一 日本女子大 大野静枝

討議の結果 着衣基準の設定に関する調査および実験研究に着手することに決定

関西地区 昭和53年9月30日(土)14:00~ 大阪市大（予定）

研究テーマ サーマルマネキンの解説と実

験例

話題提供 大阪市大 三平和雄、花田嘉代子

中・四国・九州地区

研究テーマ 肌着に関する被服衛生学的調査（青年女子を対象として一冬一）

研究方法 アンケート調査を終了し、現在集計中

昭和 54 年度

1. 第 4 回総会・講演会の開催

日時 昭和54年10月8日(月)9時~15時30分

場所 名古屋女子大学

出席者 40名

1) 総 会

昭和53年度事業および決算報告があり、承認された。ついで、昭和54年度事業計画、予算案が了承された。

2) 講演会

「皮膚の物理衛生と衣料による障害」
名古屋市立大学医学部皮膚科
助教授 吉川邦彦氏

3) 研究発表討論会

「衣服における微生物の付着状態について」
共立女子短大家政 田中直義
青山昌照
秋田大学教育 庄司善哉

4) 婦朝報告 大阪教育大 奥窪朝子氏

イギリスにおける家政学ならびに温熱環境分野の現状について報告

2. 地区研究報告

1) 関東地区（責任者：大野静枝）

「各種温熱環境下着衣標準の設定に関する調査ならびに実験研究」—実態調査—について、その進行状態について報告がなされた。なお、昭和54年度文部省科学研究費総合研究(A)の申請計画について提案があった。

2) 中国・四国・九州地区（責任者：生田則子、水野上与志子）

「成人女子肌着に関する被服衛生学的調査」について、その後の経過と研究のまとめについて報告された。

3. 第 3 回人間—熱環境系シンポジウム開催への協賛

日時 昭和54年12月7日・8日 9時~17時

場所 空気調和衛生工学会会議室

内容 本部員の出題者はつぎのとおりである。

1) 寒冷下防寒衣着用時の人体影響

吉田敬一他

2) 人と寝具（講演）

三平和雄・花田嘉代子

3) 頸髄損傷者の皮膚面サーモグラフ

田村照子・渡辺ミチ他

昭和 55 年度

1. 第 5 回総会・講演会の開催

日時 昭和55年10月10日(金) 10:00~17:00

場所 和洋女子大学

出席者 47名

1) 総 会 12:30~13:00

昭和54年度事業および決算報告が承認された。昭和55年度事業案として、本年度より部会報の発行が新たに提案され、予算案とともに承認された。実行に関しては幹事に一任された。

2) 講 演 10:00~11:30

講師 東京農工大学教授 木下陸肥路氏

演題 “衣服の保温効果の評価について”

3) 講 演 13:00~15:30

講師 昭和大学教授 奥山和男氏

演題 “新生児の体温調節”

4) 研究発表 15:30~17:00

(1) 着衣基準設定のための実態調査

関東地区研究会

(2) ヒトの体温調節反応の日リズム

奈良女子大学 登倉尋実

(3) 局所加温の皮膚温への波及

日本女子大学 藤村淑子

5) 懇談会 17:30~19:00